

## 伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報について

1. 概要

伊豆半島東部の伊東市の沿岸から沖合にかけての領域では、群発的な地震活動が繰り返し発生してきました。伊豆東部で発生する群発的な地震活動は、これまでに地震・地殻変動観測データや研究成果が多く得られており、予測的な評価が可能な事例の一つとして、地震調査委員会において評価手法の検討・とりまとめ<sup>1</sup>が行われました。気象庁は、伊豆東部で群発的な地震活動が発生した際に、この手法に基づいて地震活動の見通しを評価し、「伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報」を発表します。

2. 見通しを発表する項目

伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報は、以下の各項目に関する見通しを含みます。

- 活動期間中に発生する最大規模の地震のマグニチュード
- その地震による伊東市における震度
- 伊東市において震度 1 以上を観測する地震の回数
- 地震活動が活発な期間の長さ

3. 情報を発表する条件

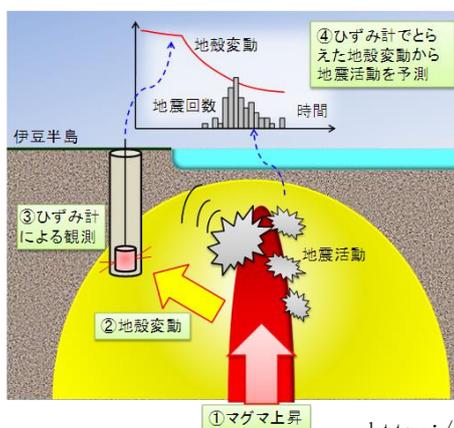
第 1 報 一連の群発地震活動の中で、最大震度 5 弱以上の地震が発生することが予想される場合、もしくは、震度 1 以上を観測する地震が 40 回程度以上発生することが予想される場合。

続報 直前の情報から一定時間経過した場合（1 日 2 回程度）。

見通しの内容の更新が必要となるような新たな状況の変化があった場合。

終了報 活発な地震活動が終了した場合。

伊豆東部火山群について噴火警報を発表した場合。なお、その後の地震活動の現状は噴火警報や火山活動解説資料等でお知らせします。



※詳しくは、気象庁ホームページ「伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報について」をご参照ください。

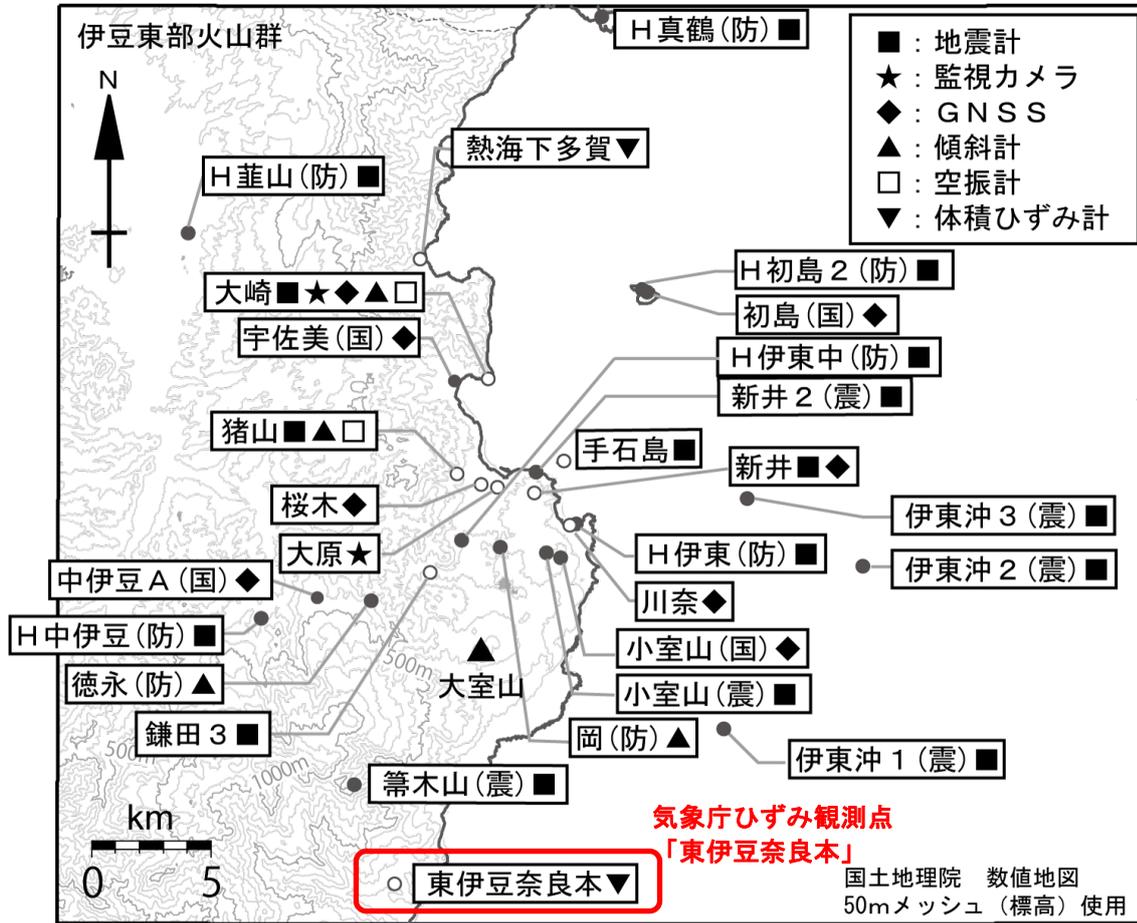
[https://www.data.jma.go.jp/eew/data/izu/izu\\_eq\\_index.html](https://www.data.jma.go.jp/eew/data/izu/izu_eq_index.html)

<sup>1</sup> 「伊豆東部の地震活動の予測手法」報告書、地震調査研究推進本部地震調査委員会、2010、

[https://www.jishin.go.jp/reports/research\\_report/yosoku\\_izu/](https://www.jishin.go.jp/reports/research_report/yosoku_izu/)

本手法は過去の活動と同様の形式で発生する地震活動を予測する手法であるため、過去の活動とは異なる形で地震活動が発生した場合は、本手法による予測の適用外となることに留意が必要。

伊豆東部火山群 観測点配置図



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所、(震) : 東京大学地震研究所